



泉の子

令和8年6月30日

泉小学校

学校便り 第3号



安心・安全な学校に

校長 尾上 清

梅雨の晴れ間に子供たちの元気な声が響き、学校には活気溢れる毎日が続いています。一方で、近年は地震や豪雨などの自然災害に加え、学校内外で予期せぬ事故や事件も発生しており、「安心・安全」の大切さを改めて考えさせられます。

【避難訓練】

本校では先日、地震後の火災を想定した避難訓練を実施しました。子供たちは、真剣な表情で訓練に参加し、自らの命を守るために何が大切かを学びました。訓練は、単なる行事ではなく、かけがえのない命を守るための大切な学びの場です。



＜6月24日（水）の避難訓練で以下のような話をしました。（主な内容の抜粋）＞

今回は、地震の後に火災が発生したことを想定して訓練を行いました。皆さん放送をよく聞き、落ち着いて避難しようとする姿が見られ、とても立派でした。

先日、東京都の小学校で火災が発生するという出来事がありました。泉小学校で火事が起きるなんて想像したくないことですが、実際に起こる可能性はゼロではありません。だからこそ、今日のような訓練が大切なのです。

皆さんは毎朝、お家の人に「行ってきます。」と言って家を出ますね。そして、お家の方は、「行ってらっしゃい。」と送り出してくれていると思います。そのとき、お家の方が一番願っていることは何でしょう。勉強ができるようになることでしょうか、運動が上手になることでしょうか。先生は、それが一番ではないと思います。

お家の方が一番願っていることは、『今日も元気に帰ってきてほしい』ということだと思います。

皆さんが家を出てから帰るまで、お家の方は、皆さんのことを心配しながら、そして信じながら待っています。だからこそ、自分の命を守ることは、自分のためだけではありません。皆さんを大切に思っている家族の願いに応えることでもあるのです。

「行ってきます。」とは、「行って、また元気に帰ってきます。」という意味です。だから、「行きます。」ではなく、「行ってきます。」と言うのです。

もし、本当に地震や火災が起きたときは、自分だけでなく、周りの人の安全も考えて行動できる人になってください。

「命について考える日」にも伝えたことを、もう一度言います。命は、自分だけのものではありません。家族や友達、先生たち、多くの人が大切に思っているかけがえないものです。どの人も同じ同じように、大切な命です。

今日の訓練を、本当に命を守るための練習として心に残してほしいと思います。そして今日、家に帰ったらおうちの人に「今日の避難訓練、しっかりやったよ」と伝えてください。きっと安心した笑顔が返ってくると思います。

【交通安全リーダーと語る会】

6月29日（月）に、「交通安全リーダーと語る会」が行われました。本年度も昨年度の活動を継続し、自律登校の様子を振り返り、改善点を話し合い、「交通安全宣言」をするという活動に取り組みました。日頃から子供たちの安全を見守ってくださっている、浜松市見守りボランティア、学校運営協議会委員、スクールガードボランティア、泉っこスマイルサポの方々12名と、交通安全指導員の方2名が参加してくださいました。そして、子供たちの安全を見守っている思いや交通安全リーダーに期待することなどを語ってくださったり、話し合いの際にアドバイスをしてくださったりしました。地域の方々のあたたかなかわりを受けて、子供たちの目がより真剣になりました。「自分の命は自分でしっかりと守る」「下級生の命を守るために、交通安全リーダーである最上級生の6年生が手本を示し、積極的な声掛けをしていく（下級生にあたたかくかわる）」そんな思いで6年生が掲げた「交通安全宣言」が実現できるよう、職員一同、精一杯の支援をしていきたいと思います。御家庭、地域の皆様にも、是非この6年生を支えていただければと思います。御理解、御協力のほど、よろしくお願いします。



わたしたち教職員は、子供たちが毎朝元気に登校し、笑顔で帰路に着くことを願い、教育活動を進めています。そして、その願いは、保護者の皆様も同じではないでしょうか。

「行ってきます。」と家を出た子供たちが、「ただいま。」と元気に帰ってくる。当たり前のように、実は何よりも大切なことです。

これからも学校・家庭・地域が手を携えながら、子供たち一人一人の命と成長を支える「安心・安全な学校づくり」を進めてまいります。引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。